

平成 1 5 年度 事業報告書

(財) 滋賀県水産振興協会

平成 1 6 年 7 月

1 事業概要

1.1 温水魚資源対策

1.1.1 ニゴロブナ資源増大対策事業

ニゴロブナ資源量の急激な減少に対処して、資源の維持増大を図るため、種苗の生産放流を国、県補助対象事業、一部、協会単独事業として実施した。放流効果を向上させるため、大型種苗を生産し、目標を上回る数量を放流した。

事業目標 事業の長期計画にもとづき、全長20mmサイズ4,500千尾(うち水田放流分2,000千尾)、120mmサイズ980千尾を放流目標とした。(計5,480千尾)

放流の実績

全長 25 mm サイズ	5,574千尾	(うち水田放流分 2,459千尾)
全長 49 mm サイズ	634千尾	
全長 100 mm サイズ	1,388千尾	
計	7,596千尾	

放流効果確認実証調査 水産試験場と共同で、効果の確認実証に努めた。放流魚の混獲率は高いレベルになっており、放流種苗の大型化の効果と見られる。

平成15年度混獲率調査結果(小糸漁獲魚)	38%	(途中結果)
(参考)平成14年度	"	31%
平成13年度	"	38%

普及啓発事業 関係漁業組合に対して、つくり育てる漁業の啓発等に努めた。

1.1.2 ホンモロコ資源増大対策事業

ホンモロコ資源の回復を図るため、種苗生産放流事業を県補助事業、一部、協会単独事業として実施した。

事業目標 全長20mmサイズ、3,000千尾を放流目標とした。

放流の実績 全長19mmサイズ、5,564千尾

放流効果実証事業 水産試験場と共同で、効果の確認実証に努めた。

平成15年度放流魚混獲率	76%	(途中結果)
(参考)平成14年度	30%	

1.1.3 沿整増殖場施設管理事業（県委託事業 年間）

ホンモロコ、ニゴロブナ等温水魚の繁殖を保護助長するため県が沿岸漁場整備開発事業で設置した14ヶ所の増殖場施設を、その有効適切な活用に資するため、県の委託を受けて定期点検管理を実施した。

1.1.4 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業 4月1日～8月10日）

ニゴロブナ、ホンモロコ等の産卵繁殖を保護助長するため、湖北町及び近江八幡市地先に県が指定する保護水面の監視、管理、清掃等の業務を、県の委託を受けて実施した。

1.2 鮎資源対策

1.2.1 アユ人工河川管理運用事業（県委託事業 年間）

琵琶湖総合開発後の水位変動に対応して鮎資源の維持培養を図るため県が設置した姉川、安曇川の人工河川施設を県の委託を受けて管理運用し鮎資源の増殖に努めた。

アユ親魚の購入、管理 産卵用親魚を確保するため、養成魚10トンを購入した（8月下旬～9月上旬）。人工河川産卵床へ親魚放流、産卵孵化、仔魚流下等の管理（8月末～11月）。

親魚放流量 10トン（購入親魚）+ 5.1トン（天然遡上親魚等）＝
15.1トン

流下仔魚数 23.6億尾

両人工河川の通年維持管理

1.2.2 アユ保護水面管理事業（県委託事業 7月15日～12月10日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定した保護水面区域（8河川）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵孵化を妨げる行為の未然防止の為、監視等を行った。

1.2.3 アユ産卵場造成事業（県委託事業 7月15日～9月15日）

アユ保護水面区域（8区域）において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成した。

1.3 情報提供事業

インターネットによるホームページを開設し、漁業者および県民に琵琶湖栽培漁業センターの事業を中心とした水産業の情報の提供に努めた。

2 貸借対照表

2004年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	金額	
【資産の部】		
流動資産		
現金預金	4,765,448	
有価証券	855,970	
未収入金	4,616,181	
流動資産合計		10,237,599
固定資産		
基本財産		
投資有価証券	11,000,000	
基本財産合計	11,000,000	
その他の固定資産		
建物	243,986,375	
構築物	423,971,700	
車両運搬具	6,647,055	
什器備品	103,912,243	
船舶	7,700,000	
減価償却累計額	452,102,701	
電話加入権	257,227	
鮎資源対策積立預金	10,000,000	
退職給与引当預金	20,256,565	
温水魚資源対策積立預金	1,175,958,424	
水産加工業振興対策積立預金	200,000,000	
その他の固定資産合計	1,740,586,888	
固定資産合計		1,751,586,888
資産合計		1,761,824,487

【負債の部】			
流動負債			
未払金	4,687,731		
預り金	252,991		
流動負債合計		4,940,722	
固定負債			
退職給与引当金	20,256,565		
固定負債合計		20,256,565	
負債合計			25,197,287
【正味財産の部】			
正味財産			1,736,627,000
(うち基本金)			(11,000,000)
(うち当期正味財産減少額)			(41,696,117)
負債及び正味財産合計			1,761,824,487

3 収支計算書

2003年4月1日から2004年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	82,000	82,500	500	
補助金等収入	100,621,000	100,249,218	371,782	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
雑収入	13,370,000	14,470,619	1,100,619	
特定預金取崩収入	19,919,520	19,919,520	0	
当期収入合計 (A)	143,692,520	144,421,857	729,337	
前期繰越収支差額	2,791,480	2,791,480	0	
収入合計 (B)	146,484,000	147,213,337	729,337	
【支出の部】				
ニゴロブナ資源増大対策事業費	65,551,000	65,300,916	250,084	
情報提供事業費	97,000	77,781	19,219	
ホンモロコ資源増大対策事業費	13,405,000	13,296,003	108,997	
沿整増殖場管理事業費	2,400,000	2,400,000	0	
鮎保護水面管理事業費	942,000	942,000	0	
鮎保護水面管理事業費	1,468,000	1,468,000	0	
鮎産卵場造成事業費	2,368,117	2,368,117	0	
鮎人工河川管理運用事業費	31,846,000	31,475,181	370,819	
管理費	23,632,000	22,916,462	715,538	
特定預金支出	1,672,000	1,672,000	0	
当期支出合計 (C)	143,381,117	141,916,460	1,464,657	
当期収支差額 (A)-(C)	311,403	2,505,397	2,193,994	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	3,102,883	5,296,877	2,193,994	

4 正味財産増減計算書

2003年4月1日から2004年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会
一般会計

(単位：円)

科目	金額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	2,505,397		
退職給与引当預金増加額	1,672,000	4,177,397	
負債減少額			
増加額合計			4,177,397
【減少の部】			
資産減少額			
建物減価償却額	6,805,386		
構築物減価償却額	15,042,853		
什器備品減価償却額	2,433,755		
その他積立預金取崩額	19,919,520	44,201,514	
負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,672,000	1,672,000	
減少額合計			45,873,514
当期正味財産減少額			41,696,117
前期繰越正味財産額			1,778,323,317
期末正味財産合計額			1,736,627,200

5 財産目録

平成 16 年 3 月 31 日
(単位：円)

(資産の部)			
1. 流動資産			
1. 現金預金			
(1) 現金	21,599		
(2) 普通預金	4,743,849		
(3) 有価証券公社債投信	855,970		
(4) 未収入金 滋賀県補助金等	4,616,181		
流動資産合計		10,237,599	
2. 固定資産			
1. 基本財産			
(1) 金融債	11,000,000		
基本財産合計	11,000,000		
2. その他固定資産			
(1) 建物栽培センター関係 5 棟	243,986,375		
減価償却累計額	64,556,556		
(2) 構築物	423,971,700		
初期保育施設	98,300,000		
栽培センター関係	288,753,700		
中間施設筏	36,918,000		
減価償却累計額	278,930,316		
(3) 車輛運搬具			
自動車 6 台他	6,647,055		
減価償却累計額	6,314,703		
(4) 備品	103,912,243		
減価償却累計額	94,986,126		
(5) 船舶 4 隻	7,700,000		
減価償却累計額	7,315,000		
(6) 電話加入権	257,227		
(7) 退職給与積立引当預金	20,256,565		

(8) 温水魚資源対策積立預金	1,175,958,424		
国債	99,995,410		
金融債	79,211,035		
社債登録債	349,993,315		
転換社債	111,645,325		
公社債券	485,000,000		
投資信託	258,965		
びわこ銀行 普通預金	40,020,000		
滋賀銀行 普通預金	9,834,374		
(9) 水産加工業振興対策積立預金			
滋賀銀行 普通預金	200,000,000		
(10) 鮎資源対策積立預金	10,000,000		
転換社債	9,595,691		
普通預金	404,309		
その他固定資産合計	1,740,586,888		
固定資産合計		1,751,586,888	
資産合計			1,761,824,487
(負債の部)			
1. 流動負債			
1. 未払金			
沿整増殖場施設			
管理点検事業委託費等	4,687,731		
2. 預り金 社会保険料	251,491		
草津市勤労者互助会	1,500		
流動負債合計		4,940,722	
2. 固定負債			
1. 退職給与引当金	20,256,565		
固定負債合計		20,256,565	
負債合計			25,197,287
正味財産			1,736,627,200

6 平成16年度事業計画

6.1 ニゴロブナ資源増大対策事業（国・県補助事業）

ニゴロブナ漁獲量の急激な減少に対処して資源の維持と増大を図るため、種苗の生産放流を実施する。大型種苗の生産放流に重点を置き、あわせて放流効果と放流方法の改善に資するため標識調査を実施する。

(1) 放流目標：全長 2cm 4,000 千尾、全長 12cm 1,200 千尾

(2) 放流目標：全長 2cm 5,000 千尾(水田放流)

6.2 ホンモロコ資源増大対策事業（国、県補助事業）

ホンモロコ漁獲量の減少に対して、全長 2cm、3,000 千尾（県補助分 2,700 千尾，自主放流分 300 千尾）を県の補助を受けて放流する。あわせて標識調査を実施し、放流効果を把握する。

放流目標：全長 2cm 3,000 千尾

6.3 増殖施設処分事業

老朽化した海老江地先の初期保育施設を撤去し、現状に回復する。

6.4 沿整増殖場施設管理点検事業（県委託事業・年間）

沿岸漁場整備開発事業により設置された増殖施設 14ヶ所の管理点検を行う。

6.5 ニゴロブナ、ホンモロコ保護水面管理事業（県委託事業・4月～7月）

重要温水魚の産卵繁殖場を守るため、湖北町延勝寺及び近江八幡市牧町地先の保護水面の管理、清掃を行う。

6.6 アユ保護水面管理事業（県委託事業・9月1日～11月30日）

水産資源保護法の規定に基づき知事が指定したアユ保護水面区域（8区域）において、産卵アユの密漁、産卵アユの散逸および産卵ふ化を妨げる行為の未然防止のため監視等を行う。

6.7 アユ産卵場造成事業（県委託事業・8月20日～9月10日）

アユ保護水面区域（8区域）において、産卵場を耕耘することにより、産卵に適した河床を造成する。

6.8 人工河川管理運用事業（県委託事業・年間）

琵琶湖の水位低下によるアユ資源への影響を最小限に防止し、資源の維持、培養を図るため健全な購入親魚を人工河川に放流して効果的に産卵、ふ化、仔魚の流下を助長することによりアユ資源の安定化を図る。

放流親魚量：10トン

6.9 情報提供事業

インターネットによるホームページを開設し、漁業者および県民に琵琶湖栽培漁業センターの事業を中心とした水産業の情報の提供に努める。

7 平成16年度 収支予算書

平成16年4月1日から平成17年3月31日

財団法人 滋賀県水産振興協会

一般会計

(単価:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【収入の部】				
基本財産運用収入	82,000	82,000	0	
補助金等収入	107,615,000	100,621,000	6,994,000	
負担金収入	9,700,000	9,700,000	0	
雑収入	13,450,000	13,370,000	80,000	
特定預金取崩収入	26,001,117	19,919,520	6,081,597	
当期収入合計 (A)	156,848,117	143,692,520	13,155,597	
前期繰越収支差額	3,102,883	2,791,480	311,403	
収入合計 (B)	159,951,000	146,484,000	13,467,000	
【支出の部】				
ニゴロブナ資源増大対策事業費	72,160,000	65,551,000	6,609,000	
情報提供事業費	97,000	97,000	0	
ホンモロコ資源増大対策事業費	14,570,000	13,405,000	1,165,000	
沿整増殖場管理事業費	3,000,000	2,400,000	600,000	
鮎保護水面管理事業費	890,000	942,000	52,000	
鮎保護水面管理事業費	1,468,000	1,468,000	0	
鮎産卵場造成事業費	2,370,000	2,368,117	1,883	
増殖施設処分事業費	5,000,000	0	5,000,000	
鮎人工河川管理運用事業費	32,200,000	31,846,000	354,000	
管理費	27,363,000	23,632,000	3,731,000	
特定預金支出	2,203,000	1,672,000	531,000	
予備費	1,000,000	0	1,000,000	
当期支出合計 (C)	159,951,000	143,381,117	16,569,883	
当期収支差額 (A)-(C)	3,102,883	311,403	3,414,286	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	0	3,102,883	3,102,883	

8 役員名簿

(平成16年7月現在)

役職名	氏名
理事長	廣田 義治
副理事長	杉本 敏隆
常任理事	菅沼 潔
理事	浅田 博之
"	岩崎 治臣
"	奥村 治一郎
"	北村 勇
"	田井中 一男
"	谷口 孝男
"	茶谷 力
"	中嶋 信夫
"	東 文一
"	松井俊治
"	松田繁雄
監事	浅井庄平
"	岸本 與志雄
"	駒井 順一

役職名	氏名
評議員	大江 孝二
"	小林 眞
"	斎藤 龍次郎
"	竹田 忠雄
"	鳥塚 五十三
"	中山 幸雄
"	西野 喜隆
"	西村 博次
"	林 英志
"	疋田 与一
"	藤原 公一
"	古川 久克
"	三田 伊弘
"	望月 幸三
"	森田 尚
"	森田 秀次
"	山中 治

(50音順)